

図表との関連を考えながら読む

〈宮崎市的人口〉

組番 氏名

山田さんの学校では、総合的な学習の時間に自分たちの住む宮崎市について調べ、発表会を行うことになりました。山田さんは、人口の移り変わりについて調べました。

資料1～3を読んで、後の問いに答えなさい。

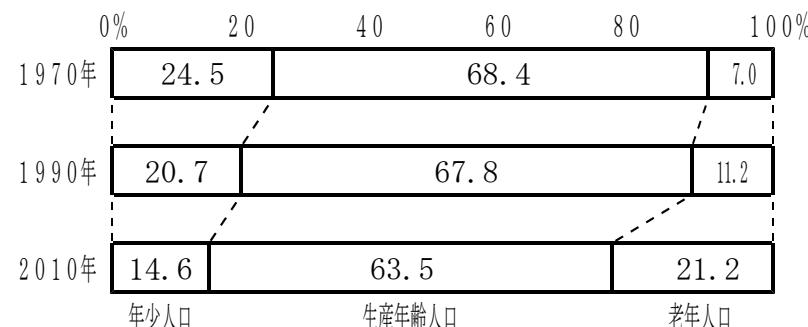
(人)

資料1 「宮崎市の人口の推移」

	1970年	1990年	2010年
0～14歳 (年少人口)	60,158	70,729	58,326
15～64歳 (生産年齢人口)	167,778	232,165	254,185
65歳以上 (老人人口)	17,274	38,526	85,048
総人口	245,210	342,573	400,583

※「平成22年国勢調査宮崎県の概要」宮崎県ホームページより作成

資料2 「宮崎市の年齢人口の総人口に占める割合の推移」



※ 資料1のデータをもとに作成

資料3 「山田さんの発表原稿の一部」

わたしは1970年から2010年までの宮崎市の人口の移り変わりについて調べました。

まず、この40年間の人口の増減について考えてみました。

1970年と2010年を比べると、0～14歳の人口は(①)。1970年と2010年を比べると、65歳以上の人口は(②)。

次に、年齢人口の総人口に占める割合の推移について考えてみました。

1970年の年少人口(0～14歳)は60,158人で、総人口の24.5%です。それに対し、2010年の年少人口(0～14歳)は58,326人で、総人口の14.6%です。

いっぽう、老人人口(65歳以上)については、1970年は17,274人に対して、2010年には85,048人になっています。

のことから、この40年間で、総人口に対する年少人口(0～14歳)の割合は10%近くも減少し、逆に老人人口(65歳以上)の人口は8倍以上に増えていることがわかります。

(一) 資料3の(①)・(②)に当てはまる言葉を書きなさい。

②	①

(二) 次のア～エの各文は、資料の内容について説明したものです。資料の内容と合つていなきものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 山田さんは、宮崎市の人口の二十年ごとの変化について調べている。
イ 山田さんは、宮崎市の人口の男女比について調べている。

ウ 山田さんは、宮崎市は四十年間に、老人人口の総人口に占める割合が、十四%

エ 山田さんは宮崎市の人口の推移だけでなく、それぞれの年齢人口が総人口に占める割合も調べている。

111

(三) 山田さんの発表原稿の後半（――――で囲っている部分）は、比較の仕方がふさわしくありません。あなたは、どのようない点がふさわしくないと思いますか。次の条件に従つて説明しなさい。

「人口」と「年齢人口の総人口に占める割合」という言葉を必ず使うこと。六十字以上八十字以内で説明すること。

条件

80字

60字